平成24年9月21日

各 位

上場会社名　北海道電力株式会社
代表者　取締役社長 川合　克彦
（コード番号　9509）
問合せ先責任者　経理部決算グループリーダー 林　秀博
（TEL　011-251-1111）

業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

平成24年7月31日に公表した業績予想（連結・個別）のうち、平成25年3月期第2四半期累計期間につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	275,000	△39,000	△47,000	△47,000	△228.62
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	303,273	18,609	12,141	5,046	24.55

平成25年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	267,000	△39,000	△47,000	△47,000	△228.62
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	294,696	17,067	10,470	4,042	19.66

修正の理由

平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想（連結・個別）につきましては、今夏、お客さまにご協力をお願いしていた節電の影響や、泊発電所の再起動を巡る現在の状況を踏まえ、修正いたしました。

なお、通期の業績予想（連結・個別）につきましては、泊発電所の発電再開時期が未確定であり、第3四半期以降の需給状況が見通せないことから、引き続き「未定」といたします。今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

第2四半期累計期間の販売電力量につきましては145億kWh程度、為替レートにつきましては80円／＄程度、原油CIF価格につきましては115＄／bl程度として想定しております。

※上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

参　　考

個別業績予想の概要（対前年同期比較）

平成２５年３月期第２四半期（累計）の収支見通しにつきましては、収入面では、販売電力量の減少や本州方面への融通電力量の減少などから、売上高は減収となる見通しであります。

支出面では、発電設備に係る定期検査費用の減少に加え、石炭火力の稼働を高めるなど経営効率化に努めましたが、泊発電所停止日数の増加による燃料費の増加などにより、経常損益は損失となる見通しであります。

以上により、当第２四半期（累計）の売上高は２，６７０億円程度となり、営業損益は３９０億円程度の損失、経常損益、四半期純損益はそれぞれ４７０億円程度の損失となる見通しであります。

（億円）

	25年3月期第2四半期(累計) 見通し　①	24年3月期第2四半期(累計) 実　績　②	増　減 ①－②
売　上　高	２，６７０	２，９４６	△　２８０
営　業　損　益	△　３９０	１７０	△　５６０
経　常　損　益	△　４７０	１０４	△　５７０
四半期純損益	△　４７０	４０	△　５１０

【経常損益の変動要因】

平成24年3月期第2四半期(累計)実績　〔A〕　１０４億円

好　転　要　因

■ **発電設備に係る定期検査費用の減少**　120億円程度

■ **石炭火力稼働増などによる経営効率化**　50億円程度
- ・石炭火力稼働増　40億円程度
- ・諸経費などの低減　10億円程度

悪　化　要　因

■ **泊発電所停止影響**　620億円程度
- ・泊発電所停止による燃料費の増　670億円程度
- ・原子力バックエンド費用の減　△50億円程度

■ その他　120億円程度
- ・水力発電量の減少による燃料費の増　100億円程度
- ・廃棄物処理費の増　10億円程度
- など

〔B〕差し引き　△５７０億円程度　収支悪化

平成25年3月期第2四半期(累計)見通し　〔A＋B〕　△４７０億円程度